

活動名：第10回福島空港公園8人制サッカーフェスティバルU-12

日程：令和元年6月15日（土）・6月16日（日）

会場：福島空港公園 緑のスポーツ広場（天然芝）

参加：L100クラス 11名

帯同：熊坂コーチ

結果：6チーム中準優勝

報告：熊坂

6月15・16日に福島空港公園で開催されました第10回福島空港公園杯ジュニアサッカーフェスティバルに参加しました。

天気予報では雨が激しく開催が心配されましたが選手の皆さんの日頃の行いの良さでしょうか雷が鳴る事もなく2日間無事に開催されました。

この大会は設楽コーチの勤務する福島県都市公園緑化協会様が主催する大会という事もありU12・2チーム、U10・2チームの出場枠を頂きました。毎年の事ですが沢山の選手が試合経験を積む事が出来るのでとても有難いです。

私はU12・アーレLを担当しました。

初日

アーレ 1-0 常葉

アーレ 6-0 猪苗代

2日目

アーレ 0-2 小野

アーレ 7-0 アーレT

アーレ 4-0 岩根

※最終結果 準優勝

私は今年度初めての帯同となりました。

個々の特徴は普段の練習で掴めていましたがチームとしてのイメージがあまりない状態でしたので5月の大会で帯同した設楽コーチからアドバイスを頂きプランを考えました。

5月の大会ではいきなりの優勝でしたので大きな期待を持って大会へ入りました。

6連覇のかかる大会で選手達の目標は「自分達の代で途切らせる事なく優勝」でした・・・残念ながら結果は準優勝でした。

しかし優勝出来なかったからといって悲観する事はありません。

この大会では沢山の経験を積みました。

その経験を生かして試合を重ねる毎に成長した姿を見せてくれました。

そんな選手やチームに大きな可能性を感じました。

また負けた試合の後にはみんな涙を流していました。それだけ真剣にサッカーと向き合ってきているのだと感じましたし、この悔しさが更に選手達を成長させてくれるのではないかと。

そう考えるとこの敗戦は布石ではないかと。

この大会で良かった点

- 多くの選手が得点した
- 積極性があり、ゴールへ向かっていくプレーが出来ていた
- 守備の部分で体を張っていた
- 自分達で考え、アップを始めたり、試合前やハーフタイムなども話し合いをしていた
- みんな仲良く試合以外でもチームがまとまって行動していた
- ミスした選手を責める事なくカバーし合えた

課題

- 基礎技術(止める、蹴る、運ぶ)

雨で難しいピッチではありましたが正確性を高めていかなければならないですね。

- 周りを見る

前と横は見ている場面がありましたが後ろを見ている選手はほとんどいませんでした。

ボールに関わっていなくても常に首を振りピッチの中を把握して欲しいと思います。

- 予測

次のプレーの予測をしなければ相手より先に動く事が出来ません。相手より早く動けなければ主導権を握る事が出来ません。

- 運動量

相手より技術が高くても運動量が足りなければ勝てません。もっと運動量が必要だと感じました。

- スピード

攻守の切替を早く、相手との駆け引きでスピードの変化を上手に使って欲しいと感じました。

この他にも選手達が肌で感じた事もあると思います。これからの練習で改善出来るように努力していきましょう。

最後に

準優勝おめでとう！

みんながやり切って得た素晴らしい結果です。

胸を張って下さいね！

福島県都市公園緑化協会様

このような素晴らしい大会を開催して頂きありがとうございました。  
天然芝の最高のグラウンドで試合が出来る子供達は本当に幸せです。  
子供達の為にまた来年も開催をお願い致します。

大会関係者様

大変お世話になりました。

皆さんフレンドリーでとても和やかで楽しい雰囲気の中で試合が出来た事を感謝します。

ありがとうございました。

今後も宜しくお願いします。

ご父兄の皆様へ

雨の中でしたが2日間選手を参加させて頂きありがとうございました。

残念ながら優勝とはいきませんでした。選手達は最後まで頑張ってくれました。

また試合を重ねる毎に成長したところを感じて頂けたのではないのでしょうか？

選手達の素晴らしい活躍もご父兄の皆様の応援があってこそです。

これからも応援を宜しくお願いします。







